

# 『つながる地域医療ですべての人に健康と福祉を』

## 医療フォーラム開く



東京西徳洲会病院名誉院長の渡部和巨氏



武蔵野徳洲会病院院長の桶川隆嗣氏

# 地域医療機関の連携、情報共有大切 「生命だけは平等だ」掲げる徳洲会の2病院院長が講演

東京SDGS『つながる地域医療ですべての人に健康と福祉を』をテーマにした医療フォーラムが4月26日、ホテルエミシア東京立川であった。徳洲会グループの東京西徳洲会病院名誉院長の渡部和巨氏と武蔵野徳洲会病院院長の桶川隆嗣氏が講師を務め、高齢化が加速する中、地域医療機関の連携と情報共有の必要性はますます高まるとし、高度医療の提供、医療の質の向上、地域完結型医療の実現を進めることの大切さを訴えた。医療・福祉関係を中心に行政や一般企業など約70社、100人ほどが傾聴した。つながる医療と福祉実行委員会（東京徳友会・健康友の会・一社バリエーションアップジャパン）が主催し、一般社団法人徳洲会東京本部が共催。東京都などが後援した。後援団体は文末に掲載。

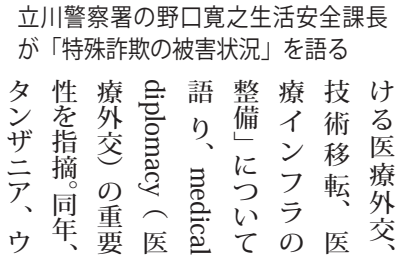
渡部氏は、新型コロナウイルス感染症対応の経験から、地域医療機関の情報共有の大切さを訴えた。東京西徳洲会病院では2020年9月に発熱外来棟を設置。抗体検査を実施するとともに、発熱患者の対応に当たった。検査は22年の第7波のピーク時には1日500人を大きく超えた。23区からの発熱者にも対応し、年間では8万6000人超を検査した。

明けても暮れてもコロナウイルスとの戦いの中で、同病院は同じ北多摩西部2次保健医療圏にある他の病院と毎週のように情報交換会を行い、共有した情報をパソコンで確認できるようにし、医療の

効率化を図った。後方病院と連携できたことが効果的だったとし、今後はより多くの病院との連携を進めたいと振り返った。徳洲会グループは創設者の徳田虎雄初代理事長の「生命だけは平等だ」の哲学の下、いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会を目指



し、救命救急、予防・慢性、先進などの各医療分野で、住民の要望に応える医療を実践



立川警察署の野口寛之生活安全課長が「特殊詐欺の被害状況を語る」をテーマに講演した。同課長は「特殊詐欺の被害状況を語る」をテーマに講演した。同課長は「特殊詐欺の被害状況を語る」をテーマに講演した。



約70社、100人ほどが傾聴

し、全国各地で信頼と実績を重ねている。北多摩西部2次保健医療圏には約65万人が暮らし、半径10km圏内では160万人にのぼる。今後も医療の需要は減らず、増すことが予想される。不足する病床を確保し、救急医療などの体制をしっかりと整え、全ての人に治療できる病院を目指す。ガンダ、セネガルなどと覚書を交わした。タンザニアでは18年3月に腎移植がスタートし、症例を重ねているとした。覚書は現在、28カ国に及ぶという。このほか、徳洲会グループの75の病院では、国際的な医療機能評価のJCI認証取得と更新を積極的に進め、これまで東京西を



徳洲会石川一郎本部長（右）と一社徳洲会の石川一郎本部長

部2次保健医療圏にある西東京市は、徳洲会武蔵野病院を含め5つの病院がある激戦区で、人口はあまり減少せず、高齢化が進み、循環器系や糖尿病患者の増加が見込まれると指摘。この中で武蔵野病院は、かかりつけ病院として急性期医療を担うほか、治療後も在宅診療、訪問看護を行い、子育て支援から人生の終末期支援まで、地域住民のニーズに対応した総合的な取り組みに力を入れていくとした。また、西東京市はもろろ隣接市の病院、医師会との医療連携を進め、地域包括ケアシステムの一翼を担いたいとした。医療の質の大切さにも言及。感染をしっかりと管理するなど患者の安全確保はもとより、健康リスクを除去できるようにゲノム医療を含めた健診の提供を進めるとした。

はじめ湘南鎌倉、葉山ハートセンター、札幌東、南部、湘南藤沢、中部、岸和田、福岡、千葉西、八尾の11病院が取得したことを紹介。「医療の質と患者の安全の継続的な改善」に前向きに取り組むとともに、徳田哲学の「生命だけは平等だ」を世界で理解してもらう機会になつていくとした。桶川氏は、北多摩北

寺は文化の発信地 創ろう地域の文化を人から歴史から

## そうぜんじ便り—水無月

第79回土曜講座（お茶代300円） 6月10日13時～15時

- イス坐禅とお話し 住職 高井 正俊
- 講師未定
- 「私のしてきたこと、そしてこれから」 前羽村市議 水野 義裕先生

学生無料。予約不要。檀信徒以外の方の参加大歓迎。

【劇団水族館劇場 宗禅寺公演「新漂流都市」】

○公演日 5月27日(土) 28日(日) 29日(月)  
6月2日(金) 3日(土) 4日(日) 5日(月) 6日(火)  
○木戸銭 ¥4,000 全席自由 ○入場整理券配布 16:30 開演 18:30



臨済宗建長寺派 宗禅寺 羽村市川崎2丁目8-20 ☎042-554-1276



送は今後、4000件、5000件をこなすほか、国産手術支援ロボット「hinotri」を日本でいち早く導入するなど必要な新しい機器を揃え、最先端の医療の提供を目指すとした。このほかスマートフォンを使った問診表の記入などDX化を進め、待ち時間の短縮などになげるとした。

正しい医療、正しい姿勢の医療現場には人も集まり、運営も上手いく。これからの努力で未来は決まるもの。「武蔵野病院なら最後まで診てもらえる」と地域住民に慕われる病院を目指したいと締めくくった。

医療講演に先立ち、警視庁立川警察署の野口寛之生活安全課長が「特殊詐欺の被害状況」を語った。特殊詐欺はコロナ後に増加傾向に転じる可能性がある。立川署内では2022年に70件、計1億3000万円の被害が出た。ほとんどがオレオレ詐欺とキャッシュカード詐欺で、被害者の大半は後期高齢者だった。地域社会が一丸となって詐欺犯罪に厳しい目を向けてほ

しいと訴えた。

開会で樋口昭久実行委員長(一社バリューアップジャパン代表理事)は「多摩地域にとって、少子高齢化が進む中、地域医療と福祉の連携ニーズはますます高まっており、対応が喫緊の課題となっている。フォーラムを通じて、地域医療の課題に対する意識を高め、多摩地域が抱える特有の問題に対処するための具体的な取り組みを皆さまで共有し、課題解決へ向けた意見交換や具体的な取り組みを進めたい」とあいさつ。

一社徳洲会の石川一郎本部長は「徳洲会の理念・哲学である生命だけは平等だ、いつでもどこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会の実現は、行政、企業、地域社会、医療などの各分野が連携して築いていくもの。徳洲会は医療の面で貢献したい」と訴えた。

※後援団体は東京都のほか次の通り。立川市・昭島市・西東京市・立川警察署・昭島警察署・田無警察署・立川商工会議所・立川法人会・東村山法人会・青梅法人会

## 新規就農者は子育て世代の主婦

### 5月下旬にミニトマト初出荷 佐藤睦美さん あきる野市



出荷に向けハウスで育つミニトマトと佐藤さん

「生活に直結する、管理栄養士の資格を生かせる、子育てしやすい。今年4月から生まれ育ったあきる野市で就農した佐藤睦美さん(39)が農業の道を選んだ理由だ。

2歳になった長女を保育園に預け、働き始めたのが6年前。子育てと仕事の両立の難しさを感じた。時間の融通が利く仕事はないかと、思いを巡らした。自宅のある同市山田周辺には畑が広がる。生

活につながる農業なら子育てとの両立ができて、食にかかわる仕事を続けられると思っ

「農業をしたい」と相談した市役所から東京農業会議の存在を知り、紹介されたのが東京農業アカデミー。2期生として八王子研修農場に2年間通い、栽培のほか、トラクターや耕運機などの取り扱いやメンテナンス、農業ハウスの組み立てなどをみっちり学んだ。

スタートは借り受け1・4畝の栽培ハウス4棟と30坪の畑。「プチぶよ」というミニトマトを中心に、トウモ

ロコシ、タマネギ、ゴボウを育てる。初出荷は5月下旬を見込み、地元の五日市ファーマーズセンターあいなで販売する。

ただ、作物の様子を見て正しい判断できていくのかなど、取り組み始めて分かった難しさもある。頭をひねるようなどときは、JA営農相談室、農業改良普及センター、東京農業アカデミー、そして周囲の農家の人たちに助けてもらっている。

それでも小学2年生になった長女を学校に送り出し、学童保育から迎えるまでの午前午後、3時間ほどの農作

業は、夫の直寛さん(48)の協力もあり、楽しいと感じている。育てる野菜はそのまま食べられるものやレンジで調理しやすいものを増やしたいという。「調理に手間がかからないことは主婦にとって大切。トマトの種類を増やし、大きなタマネギにも挑戦したい」と話す。

「農業は家族の協力さえあれば、子育て中の女性の働く場所として最適。農業仲間を増やしたいし、子どもたちの食育にもつなげたい。管理栄養士なので加工販売もやってみては広がるばかりだ。

就農希望者の相談窓口となる都農林水産振興財団と東京都農業会議によると、就農の相談件数はここ数年、増加傾向にあり、2016年度は89件だったが、21年度は398件に達した。背景について業界関係者は、農地の貸し借りを進める新制度や、女性を含め農業を求める若

## 将来は食育や加工販売も

## 井中居 6月15日で閉店 店舗活用へ借手求む

### 季節の料理 借しむ声 落ち着く空間 おもてなし

黒茶屋 (あきる野市小中野、高水謙二社長)が運営する「かいせき井中居(青梅市藤橋)が6月15日で閉店した。100余年の時を経た落ち着いた建物、小川が流れる心地良い竹林の庭園。「店がなくなるのは惜しい」との声は多く、店舗を新たに活用してくれる事業者を求めている。

井中居は24年前に、

黒茶屋、燈々庵(あきる野市小川)の姉妹店としてオープンした。店内は重厚な大黒柱をはじめ、絵で装飾した江戸時代の板戸、ガラスの障子戸など伝統的な和のインテリアで空間が構成され、「静かな井戸の中のような居心地」を感じることから店名になった。運ばれる会席料理は季節の恵みを生かし、一流の料理人が腕を振るった味ばかり。器や盛り付けは趣向を凝らし、目でも存分に楽しませてくれる。



同店では3カ月前から昼だけの営業にするなど閉店に向け準備を進めているが、客足はコロナ禍前に並ぶ1661まで。

新たな活用に興味と意欲があり、相談したという事業者は井中居0428(30)ほど。隣の市から訪れ、4月の料理「有楽」を楽しんだ女性は「どの料理も美しく、おいしかった。何よりおもてなしの心がうれしい。なくなるのはさみしい」と話していた。

どこに行っても治らなかった方へ(3密対策を徹底)

秋川駅北口 (エアドック設置) 43年の実績

# 太田ハリ灸治療院

042(550)5591 完全予約診療(当日予約も可) 土日も診療

初診料 3,000円  
治療費 3,500円 (学生2,500円)  
治療費23年据え置き

この広告で来院した方は初診料無料

坐骨神経痛、ヘルニア(腰、頸椎)、脊椎管狭さく、五十肩、ひざ関節症、肩こり、エルボ(テニス・ゴルフ)、湿疹、スポーツ障害など

あきる野市出身の演歌歌手、三田りょうさんとこのステーションやロケ番組の収録の際、足腰の痛みなどは禁物。太田ハリ灸治療院で万全な身体を維持しています。

坐骨神経痛=お尻から足にかけて痛み、シビレで歩くことが困難な方

●あきる野とうきゅう ●ココ(5階建ビル) ●西武信金

五日市街道 秋川駅

あきる野市秋川1-1-13ABCビル3階 秋川駅徒歩1分

治療にあたる太田院長